

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2024年7月23日
【事業年度】	第71期（自 2023年2月21日 至 2024年2月20日）
【会社名】	株式会社しまむら
【英訳名】	SHIMAMURA CO., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役 社長執行役員 鈴木 誠
【本店の所在の場所】	埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目602番1号
【電話番号】	(048) 631 - 2131 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員 企画室長 辻口 芳輝
【最寄りの連絡場所】	埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目602番1号
【電話番号】	(048) 631 - 2131 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員 企画室長 辻口 芳輝
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

2024年5月20日付をもって提出しました第71期（自 2023年2月21日 至 2024年2月20日）有価証券報告書の記載事項につき一部訂正を要する箇所がありましたので、これを訂正するために有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

2 サステナビリティに関する考え方及び取組

2) 気候変動への取組み

戦略

指標と目標

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第2【事業の状況】

2【サステナビリティに関する考え方及び取組】

2) 気候変動への取組み

戦略

(訂正前)

a. シナリオ分析の実施

<省略>

ア. シナリオ分析の前提

・使用したシナリオ

	国際エネルギー機関（IEA） WEO 2021	気候変動に関する政府間パネル （IPCC）第6次評価報告書
脱炭素シナリオ （1.5 ~2）	NZE（実質排出量ゼロシナリオ） SDS（持続可能な開発シナリオ）	SSP3-7.0, SSP5-8.5
温暖化進行シナリオ （2.7 ~4）	STEPS（公表政策シナリオ）	SSP1-1.9, SSP1-2.6

<省略>

c. 当社への財務インパクト（2050年を想定）

炭素税導入	脱炭素シナリオ （1.5 ~2）	1,541百万円 ・炭素税250US\$/t-CO ₂ （NZE） ・当社GHG排出量（2022年度・Scope1,2）：45,867 t-CO ₂
	温暖化進行シナリオ （2.7 ~4）	554百万円 ・炭素税：90US\$/t-CO ₂ （STEPS） ・当社GHG排出量（2022年度・Scope1,2）：45,867t-CO ₂
災害による損失	脱炭素シナリオ （1.5 ~2）	13百万円 ・災害発生率2.7倍（SSP3-7.0,SSP5-8.5） ・当社災害による損失（2013-2022年平均）：90百万円
	温暖化進行シナリオ （2.7 ~4）	97百万円 ・災害発生率1.5倍（SSP1-1.9,SSP1-2.6） ・当社災害による損失（2013-2022年平均）：90百万円

(訂正後)

a. シナリオ分析の実施

<省略>

ア. シナリオ分析の前提

・使用したシナリオ

	国際エネルギー機関 (IEA) WEO 2021	気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 第6次評価報告書
脱炭素シナリオ (1.5 ~ 2)	NZE (実質排出量ゼロシナリオ) SDS (持続可能な開発シナリオ)	SSP1-1.9, SSP1-2.6
温暖化進行シナリオ (2.7 ~ 4)	STEPS (公表政策シナリオ)	SSP3-7.0, SSP5-8.5

<省略>

c. 当社への財務インパクト (2050年を想定)

炭素税導入	脱炭素シナリオ (1.5 ~ 2)	3,365百万円 ・炭素税250US\$/t-CO ₂ (NZE) ・当社GHG排出量 (2022年度・Scope1,2) : 99,394t-CO ₂
	温暖化進行シナリオ (2.7 ~ 4)	1,211百万円 ・炭素税 : 90US\$/t-CO ₂ (STEPS) ・当社GHG排出量 (2022年度・Scope1,2) : 99,394t-CO ₂
災害による損失	脱炭素シナリオ (1.5 ~ 2)	104百万円 ・産業革命前と比べて災害発生率1.5倍 (SSP1-1.9, SSP1-2.6) ・当社災害による損失 (2013-2022年度平均) : 90百万円
	温暖化進行シナリオ (2.7 ~ 4)	187百万円 ・産業革命前と比べて災害発生率2.7倍 (SSP3-7.0, SSP5-8.5) ・当社災害による損失 (2013-2022年度平均) : 90百万円

指標と目標

<省略>

(訂正前)

a. 2022年度のGHG (Greenhouse Gas : 温室効果ガス) 排出量

ア. Scope 1、2

年度	2013	2022
Scope 1	2,899	775
Scope 2 ロケーション基準	180,957	96,170
Scope 2 マーケット基準	163,884	45,867

(訂正後)

a. 2022年度のGHG (Greenhouse Gas : 温室効果ガス) 排出量

ア. Scope 1、2

(単位 : t-CO₂)

年度	2013	2022
Scope 1	2,899	775
Scope 2 ロケーション基準	180,956	96,170
Scope 2 マーケット基準	163,883	98,619